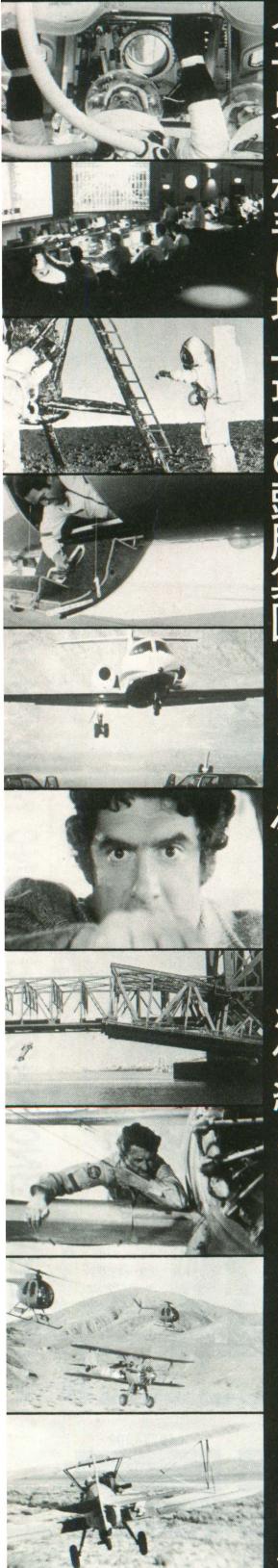




# ל-נְבָנָה

カラー作品  
パナビジョン  
超ステレオ音響

東宝東和創立50周年記念作品



全世界を相手に地上最大の頭脳集団“NASA”(米航空宇宙局)が仕組んだビッグ・トリックとは!

この日、ヒューストンにあるNASA（米航空宇宙局）は、人類史上初の有人火星宇宙船の打ち上げが行われようとしていた。3人の宇宙飛行士がカブリコン・1号に乗り込む。秒読みが開始される。しかし、発射5分前、突然にその3人の宇宙飛行士が姿を消してしまった。

■アメリカ映画界の若き才能！

原作・監督は、今アメリカ映画界をリードする34才の若き旗手ビーター・ハイ

出演には、「M★A★S★H」のエリオット・グーレルド、「ウエスト・ワールド」のジエームス・ブローリン、「カサンドラ・クロス」のO・J・シンプソン、「華麗なるギャツビー」のサム・ウォーターストン。そしてテリー・サバラスという個性豊かな顔ぶれ。音楽は「パビヨン」のジエリー・ゴーラード、スマスが当たり、壮大なスケールの中、秒刻みのスリルをたっぷり盛り込み、78年新春に叩きつけるサスペンス・アドベンチャーアジテーションである。

世界最初の有人火星宇宙船「カブリコン・1号」しかし、全世界注目の中に展開するこの300億ドルを費した華麗な宇宙ページエンタには、恐るべきビッグ・トリックが仕掛けられていた――。

アドベンチャー

面白さは秒きざみ！

CAPIRCORN ONE



特別に許可された。また火星着陸船は、設計図を基に完璧な宇宙船を創るという潔さが、ようやく現れた。当初 NASA は撮影に協力的だったが、映画の内容を知つてから態度を硬化させ、逆に製作中止を要請。ハイアムズ監督自身にも様々な圧力がかかけられたが、それにも屈しないスタッフの若さと熱意がこの作品を遂に完成させたのだ。

航空評論家  
野沢正氏

## 限界を破った アクロバット飛行

■アムズ。スチーブン・スピルバーグ（未知との遭遇）、ジョージ・ルーカス（スター・ウォーズ）らとともに、ハリウッドのニュー・パワーとして78年の映画界を席捲するに違いない精銳監督だ。ことに78年、空前のブームを予想される宇宙映画の先鞭をつけ、全世界に先がけてわが国で一足早く登場するこの「カブリコン・1」で、ハイアムズ監督のフレッシュな感覚そして抜群のアイデアとパワーが話題を呼ぶことは間違いない。

翼に乗せたまま空に舞い上った複葉機を追撃するジェット・ヘリ。このシーンは、スタント・マンが嫌る危険なものだつたが、危険飛行のエキスペード、フランク・トールマンが撮影に挑んだ。ジェット・ヘリの下にカメラ・マンを乗せての撮影で、複葉機とヘリコプターがニア・ミスの連続。しかも超低空飛行は、実に地上50センチという奇跡的なスタント・フライで、スカイ・チエイスの限界を超える撮影だった。

■ 時速 160キロで突つ走るムスタング！  
事件究明を追求する敏腕記者の車のブレーキが壊されていた。時速 160キロのスピードで市内を狂ったように走りまわる緊迫のスリルは、「フレンチ・コネクション」を超えたカー・アクションだ。特殊カメラを車のバンパーの下に取り付け、実際に 160キロのスピードで車を走らせて撮り上げただけに迫力は満点だ。

■ 特撮なし！空前のスカイ・チエイス！  
圧巻は何と言つても映画史上に例を見

交うのは、まさにアメリカ映画ならではの力量だ。

ことに圧巻はラストを飾るスカイ・チエイスだ。複葉機とジェット・ヘリが時速200キロ以上のスピードで超低空飛行の追撃戦を展開。スタント飛行の限界がクローズ・アップされ、自分で実際に飛んでいるような錯覚に陥り、思わず身を固くしてしまう。NASAの最新技術とメカニックが映画史上最高の緊迫とスリルを創り上げた。